

文化構想学部 複合文化論系 2021年度 ゼミ論文・卒業研究 題目一覧

*** 2021年度より複合文化論系プログラムは下記のように改編されました。プログラム・ゼミの名称、ゼミ・先生の配置が、2020年度までとは異なる場合があります。**

言語文化ゼミ	人間文化ゼミ
・ことばの歴史・ことばの地理 上野和昭先生	・文化ツーリズム論 寺崎秀一郎先生
・ことばの科学・ことばの哲学 酒井智宏先生	・宗教への人類学的アプローチ 國弘暁子先生
・ことばと文学・ことばと美意識 陣野英則(平田彩奈恵)先生	・移動・移住の人類学 松前もゆる先生
超域文化ゼミ	感性文化ゼミ
・都市と美術 坂上桂子先生	・現代の文化哲学 小林信之先生
・文化変容論 宮城徳也先生	・現代文明への視座 高橋透(小野寺賢一)先生
・集合的アイデンティティの諸相 山田真茂留先生	・メディア・コミュニケーション論 高橋利枝先生

言語文化ゼミ(ことばの歴史・ことばの地理) 上野和昭先生

現代の状況から見る「～島」における連濁

親疎関係に基づく敬語使用と「崩し敬語」

時代に伴うことばの印象の変化

漫画のオノマトペ——時代・対象・ジャンルの違いによる傾向の考察——

現代日本語における「非標準的な力 タカナ表記」——大学生の使用実態 と使い分け意識から——

日本におけるマンガタイトルの変遷

広島方言話者の言語意識と方言使用実態

移住経験が個人のスタイル切り替えに与える影響

言語文化ゼミ(ことばの科学・ことばの哲学) 酒井智宏先生

日本語ラップにおけるヒップホップの「真正性」受容の過程 ——一人称代名詞の使用状況分析を中心に——

「だけに」と「だけあって」の選択にまつわる 真偽判断の特権性

「なま + Y」型複合語にみられる右側主要部の普遍性

接続詞「それで」が表す因果関係の特性

言語文化ゼミ(ことばと文学・ことばと美意識) 陣野英則先生(平田彩奈恵先生)

生理にみる「タブー感」と日本の性教育の関係

ライトノベル市場における物語消費行動をめぐる考察

ルッキズムによる生きづらさの検討

現代における昭和歌謡の魅力

メディア作品から見る近現代における日本人の食事の在り方と「あたたかさ」

映像メディアにおける音の役割

日本のポップカルチャーにおけるキャラクタ像

ディズニーヴィランズを中心とした悪役の発話表現分析

現代日本語においてふりがなが持つ効果

新型コロナウイルスに関するスピーチのレトリック

広告から見る人々の認識とその変遷

敬語と人々の意識

人間文化ゼミ(文化ツーリズム論) 寺崎秀一郎先生

地域の魅力を活かした観光と地域社会の構築——「観光まちづくり」の取り組みから考える持続可能性——

ダークツーリズムに関わる人々とそのラベリングの在り方——東日本大震災にみる観光の形——

地域猫活動から見る人と猫の共生

ゆるキャラと地域活性化——「くにニャン」が目指すべき道——

市民主体のまちづくりの展望——港北ニュータウンの実地調査を踏まえた考察——

アイドルオタクの「推す」文化とファン行動——アイドルの物語性——

渋谷区のまちづくり ——“遊ぶ渋谷”と“住む渋谷”の共存を目指して——

日本におけるサードプレイスの在り方と展望—SNS 上のコミュニケーションにおけるサードプレイスとしての可能性—
県民性から見る地方創生の歩み—兵庫県の地域特性を活かした魅力発信の方法を探る—
人との繋がりが地域に与える影響 神奈川県相模原市藤野地区の取り組みから考える地域と地域に関わる人の活性化

人間文化ゼミ(宗教への人類学的アプローチ) 國弘暁子先生

ベトナム仏教寺院を中心として形成されるコミュニティの実情と寺院の存在意義についての考察
ジェンダー炎上とツイッターフェミニスト—独特な語彙からの分析—
カレーシェアハウス「東京マサラ部室」—カレーによる「他なるものの取り込み」のコミュニティ—
神奈川県藤沢市辻堂元町から考える道祖神像の意義
コーヒーと幸せの関係性について
山倉大神のコロナ神にみる現代の疫神
語学力と海外就労の関係性—日本とシンガポールの学生への調査から—
基礎自治体と民間の力を考える—国際アート・カルチャー都市構想からみる官民協働のいま—
オンライン演劇の特質とその可能性
現代神社における「御朱印」の一考察—収集した72種類の御朱印から—
地方都市における産まないという選択—富山県の事例から—
コロナ禍における小学校の給食について—「黙食」に取り組む栄養教諭の存在意義—
異性装から見るジェンダー—池袋のコンセプトカフェの需要と供給—

人間文化ゼミ(移動・移住の人類学) 松前もゆる先生

海外に背景を持つ子どもの家庭とコミュニティ参加—日本とドイツの比較から—
スポーツにおける差別意識
実家で暮らす女子大学生と日常の食—食のこれからを考えるために—
日本のモスクとイスラーム・コミュニティ
環境問題と難民

広告に見られる性別ステレオタイプ—アンコンシャス・バイアスの影響—

食材としての価値 ——日本の食文化と昆虫食の可能性——

東北地方における技能実習制度のあり方について—宮城県気仙沼市と石巻市の取り組みから—

日本伝統文化の持続可能性に求められる経営的視点——伝統工芸を中心として——

海外にルーツを持つ子どもたちへの教育のあり方——神奈川県愛甲郡愛川町の事例をもとに——

超域文化ゼミ(都市と美術) 坂上桂子先生

アルヴァ・アアルトの作品における「平滑空間」と「小さな人間」の問題

写真を撮るという行為の変化からSNS時代における日本の美術館集客を探る

エミール・ガレの自然描写と黒の意義

瀟湘八景の日本における受容と展開について

映画から見る色の象徴性 映画「グランド・ブラペスト・ホテル」と「ラ・ラ・ランド」を中心に

ルノワールの「花」の表現—人物画への応用—

ザハ・ハテイドの美術館建築

エドゥアール・マネの描く「現代生活」

赤瀬川原平におけるハイレッド・センター——「宇宙の缶詰」について——

シミュレーションイズムの観点から捉える村上隆

クロード・モネの絵画とその制作空間——ジヴェルニーの睡蓮から捉える——

フィンセント・ファン・ゴッホと浮世絵

エル・グレコとトレド——芸術と都市の連関——

ベルト・モリゾ研究 女性の束縛と解放

モネの作品にみる浮世絵の影響

アートディレクター佐藤可士和のロゴ戦略と価値観—「SMAP」と「今治タオル」を中心に—

エドワード・ホッパーの絵画空間 — 室内の表現を中心に —

丸の内の都市空間と帝国劇場の変遷

超域文化ゼミ(文化変容論) 宮城徳也先生

歴史的背景に裏付けされた社会・文化の存在

BLACKPINK ヒットの要因ー 楽的特徴と戦略的な視点からの考察ー

日本文化とラーメンの親和性について——「ラーメン」から「ramen」へ——

「観光」からみる持続可能な都市のあり方

韓国ドラマからみる日本における異文化受容——日本で巻き起こる韓流ブームの魅力とは——

現代における映画の多様な展開

ソーシャルメディアが未来に持つ可能性

炎上が発生する広告 —なぜ広告は炎上するのか—

ナチ時代における娯楽映画の役割——ナチ政権とドイツ国民と娯楽映画——

イエイツと能楽 —「鷹の井戸」と心願のアイランド—

映画とクィアネス—— アメリカ映画史における性的マイノリティ表象の変遷 ——

ブランデッドエンターテインメントの誕生背景 とその特筆性

シャーロック・ホームズの日本での受容と変容

超域文化ゼミ(集合的アイデンティの諸相) 山田真茂留先生

家事労働がもたらす負担感——テクノロジーおよびジェンダーの視点から

推知報道の功罪

カラオケの諸相

ジェンダー・ステレオタイプと集合的アイデンティティ——女子力を中心に——

日本における家族のイメージとリアル

日本的雇用システムとその変容

現代若者の人間関係の特徴と変容—— 1980 年代からスマホ普及後まで——

リバタリアン・パターナリズムの未来

SNSの普及と、その諸問題

日本における服飾流行の諸相——ブランドマーケティングを中心に——

感性文化ゼミ(現代の文化哲学) 小林信之先生

S F とは何か—小松左京論—

コミュニケーションの構造を捉える

「萌え」はなぜ衰退したか——萌えの文化史——

『涙と聖者』における神秘思想

12 平均律と異なる響きを持つ音律の美的 価値と、今後の展望について

文学は供儀の後継ぎとなり得るか—バタイユにおける「同一化」と「交流」—

感性文化ゼミ(現代文明への視座) 高橋透先生(小野寺賢一先生)

現代ファッションの価値とその在り方

日本におけるラップの行方

「ダイエットが続かない」を解決する

「ポスト・ヒューマン」の概念的存在意義について—ディストピア SF 小説、伊藤計劃『ハーモニー』の考察から—

ビッグデータ社会の構造分析

オタク文化の変遷と展望 —— 観光地としての秋葉原——

医療による人類のアップデートとヒューマニズム社会の両立

ディベア社会学— プーにみる現代を「生きる力」—

アイスショーの歴史と現在

東京ディズニーシーからパークコンテンツの発展を目指す —バックグラウンドストーリーの S.E.A.の認知度向上による新しいパークコンテンツの提案—

宝石という視点から見る価値の幻想

「ゲーム」で「遊ぶ」有用性

異文化接触ゼミ(メディア・コミュニケーション論) 高橋利枝先生

日本人の英語教育に デジタルでの改善余地はあるか——フィリピン国の英語教育と比較して——

メディアによるジェンダーステレオタイプの提示の現状と今後の課題

アンダーグラウンドカルチャーの展開について—タトゥーとマリファナから観察する文化と社会、私たちの関係性—

人間にとっての“幸福”とは何か——AI 時代における精神の尊厳と自由意志について——

プロ野球人気再燃の要因について

日本ラクロス発展のための施策案

国内旅行における若年層の SNS 利用と観光誘致

映像コンテンツのファスト化の実態とその要因

朝ドラと舞台地域——『おかえりモネ』がコロナ禍に舞台となった地域へ与えた影響——

田舎にある世界遺産は若者の観光客を惹きつけるか——岩手県の 3 つの世界遺産から紐解く——

農業の IT 化による影響と可能性 ——IT で日本の農業は発展していけるのか——

若者の価値観と消費行動

コロナ下の日本におけるTikTok利用事情及び特徴の考察

”マイクロツーリズム”から考えるコロナ後の 観光のカたち——星野リゾートの事例を中心に——

NPOにおける大学生の継続的なボランティア活動及び積極的活動姿勢を促すボランティアマネジメントとは

「逃げるは恥だが役に立つ」にみる日本のジェンダー問題——ジェンダー平等化に向けた考察——

ディズニー実写映画にみる現代の理想の女性像

日本政府によるスマートシティ政策の方向性

デジタル化に伴い変化する労働と教育について

子ども・若者が持つ「居場所」の可能性——「居場所」の効果とコロナ禍を生きる若者の声から探る——

卒業研究(担当教員)

なぜ私たち日本人はアイドルを神格化するのか——アイドルにみる神格化と育成欲の関係性——(宮城徳也)

北欧の教育と価値観(山田真茂留先生)

日本の教育現場におけるラップの可能性(高橋利枝先生)

漫才における「間」の効果に関する考察(酒井智宏先生)

デジタルゲームにおけるメタフィクションの表出とその作用(石岡良治先生)

セルゲイ・ブルガーコフによるソフィア論の独自性——その生涯を追う——(坂庭淳史先生)